



2020年3月6日

各位

会社名 株式会社ティーケーピー
 代表者名 代表取締役社長 河野 貴輝
 (コード番号：3479 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役最高財務責任者 中村 幸司
 (TEL. 03-5227-7321)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年8月16日に公表いたしました2020年2月期(2019年3月1日～2020年2月29日)の通期連結業績予想を以下①のとおり修正することといたしました。また、同じく2019年8月16日に公表いたしました中期経営計画について、2021年2月期(2020年3月1日～2021年2月28日)計画を以下③のとおり修正するとともに、新型コロナウイルスの感染拡大および終息時期が未だ不透明なことから、2022年2月期(2021年3月1日～2022年2月28日)計画を取り下げることにいたしましたので、お知らせいたします。

① 2020年2月期 連結業績予想数値の修正 (2019年3月1日～2020年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益	(参考) EBITDA
前回発表予想(A)	百万円 56,206	百万円 7,607	百万円 5,913	百万円 2,863	円 銭 79.34	百万円 11,228
今回修正予想(B)	54,280	5,770	4,050	820	23.37	9,370
増減額(B-A)	△1,926	△1,837	△1,863	△2,043	—	△1,858
増減率(%)	△3.4	△24.2	△31.5	△71.4	—	△16.6
(参考)前期通期連結実績値 (2019年2月期)	35,523	4,289	4,053	1,893	58.06	5,134

② 2020年2月期の通期連結業績予想の修正理由

最近の当社連結業績の動向および新型コロナウイルスの感染拡大に伴う直近のイベントキャンセルによる売上高の減少を主たる要因として、各予想数値を修正いたしました。また以下の要因による影響も見込んでおります。

営業利益につきましては、2019年5月31日付で連結子会社となりました日本リージャスホールディングス株式会社の取得原価配分に関しまして、当連結会計年度末に確定額を計上する見通しであります。その結果、販売管理費の増加を見込んでおります。

経常利益につきましては、2020年1月29日に締結いたしましたシンジケートローン契約に伴う手数料の発生により営業外費用の増加を見込んでおります。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、一部の非中核事業において減損損失を計上する見通しであるため特別損失の増加を見込んでおります。

③ 2021年2月期 中期経営計画の修正（2020年3月1日～2021年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	(参考) EBITDA
前回発表計画（A）	百万円 69,150	百万円 9,617	百万円 9,038	百万円 4,456	百万円 14,996
今回修正計画（B）	62,000	3,200	3,030	890	8,660
増減額（B－A）	△7,150	△6,417	△6,008	△3,566	△6,336
増減率（％）	△10.3	△66.7	△66.5	△80.0	△42.3

④ 中期経営計画の修正および取り下げの理由

2021年2月期計画の修正理由といたしましては、2020年2月期の業績予想値の修正を踏まえ、新型コロナウイルスの感染拡大に伴うイベント自粛等による当社会議室・宴会場の利用減少を見込み、各予想数値を修正したものです。また2022年2月期の計画については、新型コロナウイルスの感染拡大および終息時期が未だ不透明なことから、計画を取り下げることにいたしました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う混乱の影響が明らかになりましたら、将来の見通しにつきましては再度算定を行う予定です。

(注) 本資料に記載されている業績予想につきましては、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上